平成 24 年の年頭のご挨拶 ～院長挨拶～

昨年は忘れられない年になりました。
夢であって欲しいと何度も思いました。

当院は、県南の急性期医療を担いつつ、沿岸被災病院の後方支援を中心に活動しました。DMAT の中継基地が花巻空港に設置された事もあり、沿岸からのヘリ搬送患者を、地域内で沢山収容出来ました。そこには、病院機能に沿った役割分担の精神が十分反映されており、当院は中等症以上の重症度の患者さんを数多く受け入れさせていただきました。また、当院の急性期医療機能の保持のため、地域の医療機関の皆様は、転院等を積極的に受け入れていただきました。その結果、当院は、ベットが満杯になる事なく、入院患者中心の医療を展開できました。連携の絆を実感しました。

昨年 4 月からは、念願であった全 434 床のフル稼働を、医師会の皆様のご協力で、軌道に乗せる事が出来ました。紹介率は 70% を超え、紹介患者さん中心の医療が定着しつつあります。一方で逆紹介率も 50% を超えるようになり、急性期の医療が終了した患者さんには、回復期の病院や地域のかかりつけの先生に積極的に紹介しております。かかりつけ医、ふたりの主治医、かかりつけ薬局、かかりつけ歯科医を決めていただき、普段からの健康管理をお願いします。

最後に一つアピールいたします。昨年末に病院の基礎的な力を上げるため、5 S の推進を宣言いたしました。5 S (ごえす) とは整理、整頓、清掃、清潔、躰の 5 項目をさします。単に環境整備に終わるのではなく、効率性、人間性を高める新しい 5 S 運動を展開いたします。医療の質を上げ、更に地域の皆様に愛される病院を目指す所存です。病院の進化のため、ご意見や要望、質問など、どしどしお寄せ下さい。

厳しい季節が続きます。ご健康をお祈りいたします。
一陽来復。冬来たりなば春遠からじ。

平成 24 年 1 月

岩手県立中部病院 院長 北村道彦